

令和3年度 経営発達支援計画の自己評価（外部有識者の事業評価と見直し）

（令和4年6月1日実施）

評価点数 4.5 点（5点評価）

I 経営発達支援事業の内容

1. 経済動向調査

指摘事項	見直しを行った結果
調査数を減少させ、聞き取り数を増やしているというのであれば、その聞き取った内容をさらに詳細に特に、丹波市の今期の景況や来期の予想に記載してほしい。	現状では職員が個別にヒアリングした内容の中から意見を抜粋して調査報告書にまとめを行っています。ヒアリングしたものの、商工会内部だけの情報として蓄積されているものもあり、これらも公表し活用できる方法を検討して参ります。
景況調査は、市内経済の動向を把握する上で重要であり、長引くコロナ禍やウクナイナ情勢を始め様々な環境変化に対応する施策の企画立案に非常に役立っている。状況に応じた特別調査なども協議する中で実施し、より活用しやすいデータとなることを期待します。	行政機関や民間調査会社が出されているデータからは読み取れない地域の身近な景況感を今後もタイムリーに把握し、情報発信して参ります。

2. 経営状況の分析

指摘事項	見直しを行った結果
事業者への精力的な巡回訪問やBiz ステ連携による効果が各種の補助事業における高い採択率に繋がっている。今後、事業者が取り組んだ補助事業による効果検証の分析を期待します。（施策立案の後押しになるため）	今後も Biz ステーション丹波との連携を中心に、事業計画策定に繋がる外部環境分析、内部環境分析の機会確保に努めます。

3. 事業計画策定支援

指摘事項	見直しを行った結果
令和4年度からは第2期計画により事業を推進されることとなりますが、課題とされている事業承継支援や創業支援などの強化にも取り組まれるとのことです。Biz ステーションたんばとの連携を図りながら、コロナ後も見据えて、事業者の支援が行われることを期待しています。	創業支援については、起業塾開催や窓口相談の充実により相談者を広く集め、Biz ステーションの個別相談で相談内容の深堀を行っていくという支援のスキームができております。事業承継についても同様に、広く相談者を受入れる体制と、これに対応した一連の支援スキームを、Biz ステーションたんばとの連携により構築して参ります。

4. 事業計画策定後の実施支援

指摘事項	見直しを行った結果
積極的な伴走型支援に取り組まれている。AI やDX化の進展があったとしても、最後は人（職員）	コロナ禍でも会員事業所様の数が増加しているのは、やはり身近で対面で相談できる場所を地

が心理面での支えになるため、大きく評価できる点であると感じます。同時に、会員数の増加もあり職員の負担もさらに大きくなるため、引き続き事業の精査の取り組みが必要であると感じます。	域の小規模事業者様が求めておられる証拠であると認識しております。引き続き、身近な経営相談ができる機関としての役割を果たして参ります。
--	--

5. 需要動向調査

指摘事項	見直しを行った結果
<p>需要動向調査 調査方法に工夫(対面が不可であれば web など)が必要なのでは？</p> <p>コロナ禍において人流が一変し、調査自体が非常に困難であったと推察します。具体的にお示しできる案はありませんが、コロナ禍でも対応できる動向調査の手法を検討する必要があると感じます。</p>	<p>コロナ感染状況によっては、今後もイベント等の開催が自粛され、対面アンケート実施機会が確保できない事も予測されます。また、対面での調査は確かに感染対策という観点ではリスクが高く、調査方法の改善、対面聞き取りに代わる調査の実施方法も検討して参ります。</p>

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業

指摘事項	見直しを行った結果
<p>多くの会員を擁する丹波市商工会のスケールメリットを活かした会員事業所間取引の推進は非常によい取り組みです。今後、市としても、例えば補助事業で市内事業所間での取り組みであれば補助率の増嵩などのインセンティブ付与により域内経済の活性化に寄与する支援策なども検討したいと考えております。</p>	<p>会員間のビジネスマッチングについては、2期計画に於いても伴走型支援の出口支援（販路開拓支援）として積極的に取組んで参ります。</p>

II 地域経済の活性化に資する取組み

指摘事項	見直しを行った結果
<p>全てにおいて、概ね計画を達成されている。中心市街地の活性化は市の方針が決まらなければ難しい。</p>	

III 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組み

指摘事項	見直しを行った結果
<p>経営指導員の資質向上のための会議や専門家の窓口相談への同席などを通じ能力向上に努めてほしい。同時に、管理者はこの事業の目的や意義など、悩みを抱えているスタッフには熱く語ってほしい。(疲労蓄積のスタッフがいそうな感じがしたので)</p>	<p>引き続き、専門家派遣指導の現場やBizステーション丹波での伴走個別支援に帯同しながら、現場における実践的な支援能力の向上に努めて参ります。また経営発達支援事業の目的、内容、目指すビジョンを組織内で改めて共有し、組織全体で取組んで参ります。同時に業務内容全般の見直しを行い、WLBの推進にも取り組みます。</p>

<p>商工会を通じ、新規事業が創出され、事業が拡張し、雇用が維持、商工会・丹波市がますます発展することを期待しています。</p>	<p>引き続き、Biz ステーション丹波との連携を中心に、新規起業者の支援とこれによる地域経済・活力増進に取り組んで参ります。</p> <p>新規起業については、起業する事が目的ではなく、あくまで起こした事業をいかに継続していかるといふ視点に立ち、充実したフォローアップ体制に基づき、地域に根差した事業所を1つでも多く輩出して参ります。</p>
--	--

全体を通じたコメント

グループ支援への取組、事業者自ら PDCA サイクルを循環するしくみの確立、コロナ影響による需要動向調査の未実施等課題はあるものの、全ての項目において全職員が一致団結して積極的に行動し、創業事業者の廃業件数の大幅な低下や『にじいろタブレット』等、課題の本質を見極めた仕組みづくりによる新たな需要開拓に寄与する取組等、大きな成果をあげていると評価する。

また、丹波市商工会の組織力については、地域密着でお役に立とうとするマインドにもとづき、個々人の能力向上に向けた研鑽に加え、毎朝のミーティングや終礼の取組等を通じて着実に向上していると感じる。

新型コロナウイルス感染症拡大により、活動の自粛、計画の変更などが求められるなか、活動可能な範囲において適正に運営されていた。組織改革により捻出できる時間を有効活用し、さらなる活躍が期待される。

令和3年度は前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の状況の中、その影響により制限された取組などもあり、経営計画策定や需要動向調査など実績の上がらなかった項目もあったものの、巡回や個別相談による支援、補助金などを活用した経営計画策定支援や創業支援など多くの実績を上げ、事業者の支援に大きく貢献していることが窺えることを高く評価します。

長引くコロナ禍において、多種多様な業種業態の新規起業者を輩出している。Biz ステーションやチャレンジショップと職員さんの連携による好循環が見受けられます。創業後の早期廃業も見られないなど、創業に至るまでの準備段階における丁寧な指導と創業後の確かなフォローアップの賜物であり、引き続き精力的な取り組みを期待します。

長引くコロナ禍で業務過多の中、限られたマンパワーを最大限に活かし、局長を中心とした一体感のあるチーム力を存分に発揮され、その対応にあたられた。また、課題を的確に把握され業務改善に取り組まれています。引き続き行政への施策立案への提言もお願いいたします。